

会 議 録

会 議 名	第52回野田市市民活動支援センター運営協議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 議案 (1) 令和6年度市民活動支援センターの事業計画（案）について（公開） 2 報告事項 (1) 令和5年度市民活動支援センターの登録状況（令和6年1月1日現在）について（公開） (2) 令和5年度市民活動支援センターの利用状況（令和5年10月～12月）について（公開） (3) 第4回こまめカフェの開催について（公開） (4) 学習会（助成金・NPO法人・パソコン）の開催結果について（公開） (5) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2023」 第6回市民活動元気アップふえすたの開催結果について（公開）
日 時	令和6年1月24日（水）午前10時から午前11時50分まで
場 所	野田市役所8階 大会議室
出席者氏名	会 長 竹澤 勇司 委 員 岩井 勝治、北倉 恵美子、名代 ちよ子、芝田 栄太郎、加藤 眞智子 事務局等 市民生活部長 宮澤 一弥、市民生活課長 須賀 良平、市民生活課長補佐 岡田 敦子、市民生活課コミュニティ係長 高梨 清美、市民活動支援センター長 関口 一夫、主任コーディネーター 釜田 正雄、コーディネーター 荒井 ハツヨ、コーディネーター 渡邊 勝男、コーディネーター 松本 貴美江、支援補助員 向佐 美知子
欠席委員氏名	立山 喜弘、武智 多恵子

傍 聴 者	2 名
議 事	第52回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
1 開会 事務局から開会を宣言。 会議の成立について報告。 会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。 2 市民生活部長挨拶 宮澤部長挨拶 3 議事 議長（竹澤会長） 議案 1 の前に、報告事項から審議をすることについて了承を求めた。 各委員 特になし 報告事項(1) 令和 5 年度市民活動支援センターの登録状況について （資料 報告 1）－ 1 ～ 2） 議長（竹澤会長） 報告事項(1)について、説明を求めた。 向佐支援補助員 報告事項(1) 令和 5 年度市民活動支援センターの登録状況についてを説明した。 議長（竹澤会長） 報告事項(1)について、委員に意見を求めた。 北倉委員 新規の団体で花の先ちょまちづくりという団体があるが、どこで活動をしているのか教えてほしい。 向佐支援補助員	

花の先っちょまちづくりは、関宿地区で活動している。ハンドメイド作家と似顔絵師の方が、子ども向けのワークショップやフリーマーケットの開催など、地域のために役立ちたいということで立ち上げた。

北倉委員

とても若いグループで良いと思う。私たちもたくさん交流したいと思う。特に関宿地域で頑張っているということなので期待したいと思う。

議長（竹澤会長）

意見がないようなので、報告事項(1)については、以上とする。

報告事項(2) 令和5年度市民活動支援センターの利用状況について

(資料 報告 2)－1～3)

議長（竹澤会長）

報告事項(2)について、説明を求めた。

釜田主任コーディネーター

報告事項(2) 令和5年度市民活動支援センターの利用状況についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(2)について、委員に意見を求めた。

北倉委員

イオンノア店内会議室の利用状況について、多数活用されていて大変嬉しいことだ。市民活動が活発になっている証拠だと思うが、15団体というのが少し少ないのではないかなと思うが、定期的に利用している団体が多いと考えたらよいのか。

釜田主任コーディネーター

定期的に利用している主な団体としては、国際交流協会が日本語教室、外国語教室を開催し、多く利用している。

議長（竹澤会長）

コロナも落ち着いてきているので、これからどんどん活発化していくのではないかなと思う。

岩井委員

登録団体も増加し、活動状況も活発になっていることは、非常に好ましいと思う。この状況が続くよう、市民活動支援センターの御支援をお願いする。

加藤委員

相談件数等のところで、市民活動元気アップふえすた関連がかなり減っているが、特記する内容はあるか。

釜田主任コーディネーター

市民活動元気アップふえすた関連については、昨年度は3つの行事が合同で初めての開催であったため、団体の説明等により件数が多かった。今年度は2回目ということで、団体への説明が減少した。

議長（竹澤会長）

意見がないようなので、報告事項(2)については、以上とする。

報告事項(3) 第4回こまめカフェの開催について

(資料 報告 3)

議長（竹澤会長）

報告事項(3)について、説明を求めた。

渡邊コーディネーター

報告事項(3) 第4回こまめカフェの開催についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(3)について、委員に意見を求めた。

こまめカフェの開催も4回目になる。前回までの経験を更に次にいかすことで企画内容も大変充実してきているのではないかと感じている。

名代委員

こまめカフェはとてもいいことだと思うが、参加団体が5団体。来場したときに自分とミスマッチであった場合は、こまめカフェに来ていない団体へ誘導はしてくれるのか。5つの団体の紹介だけなのか教えてほしい。

渡邊コーディネーター

市民活動支援センターとして、登録されている団体情報を提供し、マッチングできるようなブースを用意する。

岩井委員

まめメールで送信するとあるが、送信回数の制限はあるか。市民に正しい情報を伝えるのは非常に難しいと思うので、1回だけでなく数回送信してもらうと良いのではないかと思います。

須賀課長

まめメールの回数については特に制限はない。必要な情報について随時発信し、登録している方に理解いただくということ、発信回数は制限がないため、見る方に伝わりやすく、把握してもらうというのが一番の目的である。

「回数を何回にします」とは言えないが、参考にさせてもらう。制限はないため、2回以上の広報も含めて考える。

芝田委員

市民活動グループの参加会員が高齢になってしまい、運転免許証の返上をしている人が多くなってきている団体も多い。そのような状況の中、新たに活動できる場所や交通の便などについて、どのように考えているのか伺いたい。

市民活動団体は、イオン会議室、公民館等で活動している。そのような場所は、バス停や駅から遠い。高齢者は運転免許証を返上してしまうと、徒歩で行かなくてはならないため、交通の身近なところにある施設があるのか伺いたい。施設がある場合にはどのように紹介しているのか。

須賀課長

現状の活動は、公民館やイオン会議室が活用できる。これ以上の市民活動団体専用の会議室の確保はなかなか難しいので、既存の施設を使用してもらうことになる。例えば、公民館であれば、まめバスが近くに通っている。なかなか本数がなく、時間帯などを合わせるのは難しいとは思いますが、公共施設を活用いただきたい。

渡邊コーディネーター

こまめカフェのチラシを追加資料として配布した。これは、まだ案となるため、委員の皆さんの意見を伺いたい。こまめカフェの趣旨とプログラムの概要を紹介している。

岩井委員

フリータイムの説明のところで、登録団体への質問等があればこの時間だと伺ったが、参加団体のほかに登録団体の情報についても提供するというのを付け加えたらどうか。

芝田委員

市民活動支援センター登録団体の紹介冊子は、こまめカフェを開催するときには、会場に持って来てくれるか。

渡邊コーディネーター

持っていく。

北倉委員

20 名程度、先着順と書いてあるが、20 名以上でも来場して良いのか。受付は必要ということか。当日、思い立ってふらっと来ても、会場に入れないというイメージか。

渡邊コーディネーター

ある程度の目安ということで、前回と同様に 20 名程度とした。もちろん、来られた方を拒むものではないので、十分受け入れられる形で用意する。

北倉委員

新しいことに挑戦してみないかというメッセージをすごく感じるが、しつこいと思う。「第4回こまめカフェ 新たに活躍できる場所、見つけませんか？何か新しいことをやってみたいなどお考えの皆さん、新たな活躍の場として市民活動を考えてみませんか」とあるが、別に古くてもいいかと思う。1 個外せば良いと思う。

議長（竹澤会長）

こまめカフェが始まったときに、コーヒー等を出す、出さないといった話があったが、コロナでは出せないとか言っていたが、今回はどうか。

渡邊コーディネーター

この名前にあるように、カフェと書いてあるので、入場したらすぐに飲物を提供して、くつろいでもらってから進めていく。

北倉委員

こまめカフェの内容が記載されている面に、「第4回こまめカフェについては裏面をご覧ください」と書いてあるコーヒーカップの絵があるが、この第4回こまめカフェと大きな文字のこまめカフェが重なって分かりにくいので、その第4回こまめカフェのところに「3月3日第4回こまめカフェ」と書いたらどうか。

名代委員

どちらが表なのか分からない。写真が付いていると、付いている方が表だと思ってしまう。

加藤委員

チラシを見間違えるのは、ボリュームの差だと思う。表面はすっきりしているが、裏面はびっしり書いている。例えば、ゴシックの太字ではなく、もう少しすっきり書いたら、表裏がはっきりするのではないかと思う。どうしても写

真がある方が表に感じてしまう。

関口支援センター長

委員の皆様からの意見を踏まえ、チラシの表裏が分かりにくいこと、こまめカフェが少し大きすぎるという意見もあり、写真のある面を表にして作り直すこととする。

議長（竹澤会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(3)については、以上とする。

報告事項(4) 学習会（助成金・NPO法人・パソコン）の開催結果 について

（資料 報告 4－1～5）

議長（竹澤会長）

報告事項(4) 学習会（助成金・NPO法人）について、説明を求めた。

荒井コーディネーター

報告事項(4) 学習会（助成金・NPO法人）の開催結果を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(4) 学習会（助成金・NPO法人）について、委員に意見を求めた。

芝田委員

いろいろなところが助成していると思うが、日本郵便の基金で1団体が採択された。これはどういう申請をすればいいのか、参考までに聞きたい。

荒井コーディネーター

採択された団体は、不登校の子供たちの学習をしている団体で、その施設の改築等に使われている。そのほか福祉施設で使われる車両も対象となる。この補助金申請では、法人が対象となり任意団体は対象ではない。

岩井委員

質問はないが、いつも感謝している。これだけ補助金の享受を受けられるわけだから、情報提供をしっかりと、続けて努力をお願いしたい。

議長（竹澤会長）

報告事項(4) 学習会（パソコン）について、説明を求めた。

向佐支援補助員

報告事項(4) 学習会（パソコン）の開催結果を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(4) 学習会（パソコン）について、委員に意見を求めた。

パソコンの操作は、一人一人のレベルが違ったり、習得している実情が違うということもあると思うが、教わる人が戸惑っていたり難しかったりすると思うが、その対応はどのような形でされているか。

向佐支援補助員

一切エクセルを触ったことがないというレベルを前提として、まず誰でも触れるということを伝え、分かってもらえるレベルに合わせてテキストを作っている。少し触ったことはあるが分からない。すごくできるということではなく、何となく触っているが自分で何をやっているのか分からないという方が多い。また、ほかの人から引き継いだデータを使えないなど、エクセルはレベル差のないところで学習会が実施できていると思う。

岩井委員

団体を設立してからの運営状況の勉強は、十分行き渡っていると思うが、NPO法人を新規に作りたいときの支援もしてくれるのか。

荒井コーディネーター

法人設立、団体の設立のサポートもしている。

議長（竹澤会長）

岩井委員から話があった件は、相談業務の段階で話を聞いてサポートができる。ほかに意見がないようなので、報告事項(4)については、以上とする。

報告事項(5) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2023」第6回市民活動
元気アップふえすたの開催結果について

（資料 報告 5）

議長（竹澤会長）

報告事項(5)について、説明を求めた。

釜田主任コーディネーター

報告事項(5) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2023」第6回市民活動元気アップふえすたの開催結果についてを説明した。

資料には載せていないが、ここで参加団体からの意見の一部を紹介する。まず昨年よりも会場レイアウト等が整理されて、見学者の動線がはっきりと確保され、動きやすかった。天候にも恵まれ、昨年よりお客が多いと思われた。心配した2階、3階の来場者も多く、盛況だった。体験型が増えて、参加者も熱

心に取り組んでいるようだった。全体的にやる気、学ぶ気、伝える気など、交流会にふさわしい雰囲気に仕上がったようであった。笑顔が多く元気アップふえすたにふさわしい内容であったと思う。事務局の対応、指導に深く感謝しますなどの評価する意見がある一方で、スタンプラリーについては、スタンプ押印欄に注意書きとして「体験せずの押印はしません」と柔らかい表現で表示してほしい。現場での説明だけでは難しいと思う。限られた時間で体験して、全て押印してもらうのは無理だったとの意見もあった。また、名実ともに三つの催しの一本化を図るべき、組織の横連携を具現化し、市役所内で先進事例となり模範となってもらいたいという意見もあった。

来年度は、今年度の参加団体、三つの事務局の意見、代表者連絡会議等の意見を参考にし、内容を充実して多くの来場者を迎えたいと思う。来年度も三つのイベントの同時開催となり、令和6年11月17日（日）の開催を予定している。

市民活動支援センター運営協議会の委員の皆様には、参加団体、運営スタッフとしての御協力いただき、ありがとうございました。また、特定非営利活動法人野田文化研究会の方には、第3会議室で使用した音響設備や音響スタッフの派遣など、御協力いただきました。ありがとうございました。

議長（竹澤会長）

報告事項(5)について、委員に意見を求めた。

名代委員

元気アップふえすたでは、いろいろありがとうございました。

いつもより配置レイアウトが分かりやすかった。ただ、パンフレットのレイアウトの説明が細かすぎたので、年配の方からは「どうなっているのか」と質問を受けた。

私は、自分が出演する演目が二つあり、出演後スタンプラリーを全部回るというのは無理があった。出演していても、スタンプラリーは、必ず何かしら体験をしてからでないと押印できないということであったが、高齢の方数人からは「もう押してください」と言われた。スタンプを押すときに「私たちの団体はこういう団体です」と説明をしながらスタンプを押したが、「全部体験をしないとスタンプを押しません」というのは、厳しいのではないかと思います。

今回は中学生や若い方が来場してくれて、市民活動を応援してくれている感じがした。本当にありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。

釜田主任コーディネーター

スタンプラリーは、集客をするのが一番の目的である。それから、来場者に楽しんでもらう。先ほど名代委員から話があったように、全て体験するのはなかなか難しいと思う。参加団体の打合せ会議や実行委員会の中で、厳密にやるという支障が出てしまう。委員が言われたように、団体の活動説明等体験をしなくても押せるような対応について検討していきたい。

議長（竹澤会長）

スタンプラリーを開始した頃は、今より押印する場所が多かったか。

釜田主任コーディネーター

以前は、8箇所くらいだった。スタンプを置くところは多かったが、スタンプをもらう数は「全て」ということではなかった。

議長（竹澤会長）

回る箇所の数などいろいろあると思うが、もっと分かりやすく楽しく、更に自立したものを作ってほしいと思う。

加藤委員

スタンプラリーを今まで自分で回ることにはなかった。今回、初めて回ってみて、直接体験はできなかったが、団体がこういう活動をしているということをするごく綿密に知ることができた。スタンプラリーがとても意義があることだと自分自身が今回初めて実感した。

議長（竹澤会長）

今回、自分も全部回ることができた。まず、自分の目で1階、2階、3階と回り、いろいろな団体がいると実感した。やはり実際に自分で見て、いろいろ参考にしていくというのが基本だと感じた。大変実りのある市民活動元気アップふえすたとなったと思う。

芝田委員

私は、市民活動元気アップふえすたの運営委員の中に入っているので、この件については、聞くだけにしたい。

釜田主任コーディネーター

先ほど名代委員から意見があったパンフレット関係で補足がある。パンフレットについては、昨年いろいろ意見をもらい、特に表表紙については、全ての皆さんが興味を持てるような形に変えていきたいということが一つと、裏面はどうしても全部掲載したい。団体名も入れたいという意見があるが、できるだけ分かりやすくを基本に来年に向けて見直していきたいと思う。

議長（竹澤会長）

委員のいろいろな意見を取り入れて、次の成功に結びつけていくという努力は、職員の方に感謝申し上げる。ほかに意見がないようなので、報告事項(5)については、以上とする。

議案1 令和6年度市民活動支援センターの事業計画（案）について

（資料 議案 1）

議長（竹澤会長）

議案(1)について説明を求めた。

関口支援センター長

議案(1)「令和6年度市民活動支援センターの事業計画（案）について」を説明した。

議長（竹澤会長）

8月の協働のまちづくりセミナーは職員対象ということなので、職員の意識の向上ということを踏まえて、市民によく分かりやすく接してもらえれば有り難い。議案(1)について、委員に意見を求めた。

北倉委員

頻繁に学習会が計画に入っているが、この学習会の参加者を集めるのにそれほど苦労がなければ、もう一つぐらい活動を増やしてみたらどうかという提案である。例えば、こまめカフェがとても楽しそうなので、こまめカフェは5団体で開催し、そこで体験してみたい、加入してみたいという方が、5月～6月頃に、こまめ体験交流会のような形で、こまめカフェに参加した団体の中で参加者がいたら、その人たちを交えての発表交流会のようなものを2ブースぐらい作り、誰でも見に来てくださいという企画はどうか。例えば、野田レクリエーション協会のかると点訳絵本の会をマッチングさせて開催する。参加した人も主催者側として参加したり、自由に見学に来たりしてもらってもいいというイベントを作ってみたらどうか、と提案する。

関口支援センター長

こまめカフェに参加した団体は、こまめカフェの内容が楽しいことや十分に自分たちの意見を説明できたということで、参加したことがある団体は協力してくれると思うため、検討する。

今回のこまめカフェの5団体は、こちらから声をかけてこまめカフェに参加

してもらった。

名代委員

こまめカフェは、団体自ら希望して参加しているのではなく、市からお願いして参加してもらっているのか。私たちの団体は、人が欲しいので必ずこのようなイベントがあると参加したいと思うが、他の団体は参加したくないのか。

関口支援センター長

市民活動つうしんを通じて昨年も募集をかけたが、なかなかすぐに集まらない。市民活動支援センターに団体の代表等が来場したときや、助成金の学習会等に来たときに「こういうイベントを開催するので、参加しませんか」と声をかけ参加してもらっている状態である。こまめカフェを3月にやりますので、参加してくださいという市民活動つうしんやチラシを出しても、すぐには反応してもらえない。

岩井委員

登録団体あるいは登録していない団体も含めて、団体はすごく活性化している。役員の改選で苦勞していないとか、活動がとても活発だという団体があったら、そういう団体をお願いして、希望者を募り活性化の研修会のようなものができたら良いと思う。こまめカフェは、多少そういう機能を持っていると思うが、もし可能であれば開催してほしい。

関口支援センター長

岩井委員が言っていることも検討していかなくてはならないと思っている。市民活動つうしんの団体紹介については、今まで3団体を載せて紹介していたが、昨年から1団体に絞り、1ページ全部を使って、長期間活動している団体の紹介をしている。市民活動つうしんだけでは伝えきれないところもあるため、何団体か集まってこまめカフェのような形で団体の活動している方を対象に開ければ良いかと考えている。

議長（竹澤会長）

成功の事例や、活動をやっている上においてうまくいかなかった、こういう失敗があったというような話は、なかなか聞ける機会がないと思うので、いろいろ考えて実施するのも良いと思う。

芝田委員

私は、野田スカウト連絡協議会の代表で出席しているが、50年以上組織が存続している。連絡協議会は、各組織が集まってできている協議会のため、会員

数は徐々に減っていく。例えば50年やっても、中身は余り褒められた内容ではないところもあるので、継続期間が長ければ発展的な組織だと思われるのは、なかなか難しいと理解してもらえればいいと思う。

加藤委員

私は、朗読グループあいの会に入っている。グループが創立してから48年くらいになる。とにかく皆が前向きである。視覚に障がいがある方を対象にしていることで、広報を市民に全部分かっていただけることをメインにして、あとは選択で小説や月刊誌などいろいろな物を朗読し、パソコンで録音後、CDにして視覚障がい者に渡すというボランティアをやっている。本当に組織がしっかりしているということをすごく感じる。自分が入会した当時は、本当に喧々^{けんけん}囂々^{ごうごう}に意見が出るくらい活発で、随分恐ろしい組織に入ってしまったという感覚だった。それくらい全員が真剣に取り組んでいるのだなと、入会した当時は感じた。それぞれが分担した責任を全うしているということと、コロナで一時中止したが、人材育成、後輩の育成にすごく力を入れている。入会後には、先生から一週間の講義を受け、会の中に学習部というのがあり、自分たちで新人講習を行い、読みの練習等を具体的に教えている。本当に学ぶ側も真剣で、教える側も真剣。先輩方から使命感を引き継がれてきたということがとても大事だということを感じた。組織の仲の良さが、活動が続く一番の理由であり、楽しさでもある。活動していて苦にならない。録音の校正などをやらせてもらうと、気付いたら夜中の2時、3時になっているということがある。私のような後期高齢者にとっては、非常に大変な作業だが、それが苦にならず、活動できるというのは本当に有り難いことだと思う。

名代委員

私は、いつも野田夏まつり躍り七夕に天空として参加している。去年はとても暑く、市の広報でも不要な外出はしないようにとアナウンスしていたが、野田夏まつり躍り七夕は午後5時集合のため、最寄りの駐車場から集合場所まで歩いて障がい児と移動した。当日は運が良く、いつもよりも涼しかったが、熱中症の危険もあるし、スタッフの方、音響とか道路警備の方は、もっと早くから準備している。外で活動するのはどうなのか。もしできたら、櫛のホールの涼しいところにするか、開催時間をもう少し遅らせて、日が落ちた午後7時に集合して、午後8時からにするとか、近隣の迷惑とか、私たちが知らないところでたくさん調整をして開催していると思うが、その辺はどこが主催して道路

を使って、どこで何時からなどを決めているのかというのを伺いたい。

宮澤部長

野田夏まつり躍り七夕は実行委員会を組織しているが、その中に市のPR推進室が参画している。今の意見はこちらから伝えておく。ただ今回、実行委員会の中でもそういった意見は出ていたような気もするが、やはり本町通りで躍りパレードをするというイベントなのかなと思うし、時間も交通規制があるので、どこまでできるのかは、この場では何とも言えないが、事故があっては元も子もないので、その辺も含めて、今後検討させていただきたい。

釜田主任コーディネーター

今、部長から言ったとおりだが、野田夏まつり躍り七夕に参加するのはよさこい協議会なので、市民活動支援センターとよさこい協議会で話をして、全体の時間が決められている中で、どうするかというがあるので、是非よさこい協議会との間の中で話をさせていただきたいと思う。

岩井委員

過去に聞いた話では、野田みこしパレード、野田夏まつり躍り七夕の目的は、元々は商業振興。どうしたら商店街が活性化できるかというところからスタートしていると思う。

どこの市町村も同じだと思うが、なかなか公だけではカバーできない業務が出てきて、市民の皆様にボランティアでお手伝いいただく。自助、共助、公助の自助、共助のところをボランティアでやっていただけないかなということが一部にあると思う。

そのことについて、野田市以外の情報を集めるのは難しいのか。

関口支援センター長

年に1回担当者会議があり、そこで他市の状況を聞くこともできる。他市の市民活動支援センターは、センター自体をNPOが運営しているところもあり、一生懸命頑張っている団体を紹介したりしているので、参考にさせてもらっている。その中には、すごいなと思う団体もあるので、参考にしていきたい。

議長（竹澤会長）

事業計画案を見ると今年はこれでいく感じだが、この運営協議会の一番の要素は、この運営協議会で見直し、意見を言って取り入れてくれるということが、市民と市の職員が一緒にやっているということになる。

令和6年4月に入ってスタートしたとしても、もしかしたら他の委員が新た

に意見を出すかもしれないが、そこは臨機応変に取り入れていく。普通はそういうことはやらない。委員の方も御理解いただいて、お力添えいただければ有り難いと思う。

事業計画案はいかがか。ほかに御質問等はあるか。

芝田委員

異議なし

議長

異議なしとのことなので、この事業計画案のとおりとする。

須賀課長

市民活動支援センター運営協議会委員の令和6年3月末での任期満了に伴う改選の基本的な考え方については、昨年の協議会で説明を行った。その後、委員の皆様は個別に連絡したが、本日出席いただいている6名と立山委員は、引き続き委員としてお願いすることで了解を頂いた。

本日欠席の武智委員は、今期で退任という申出があった。武智委員は、機能強化検討委員会の委員から長きにわたり、市民活動支援センターの運営について多くの御指導を頂いた。この場をお借りして御礼申し上げたい。

本日御出席の委員の皆様には、引き続き御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

高梨係長

令和6年度の市民活動支援センター運営協議会の公募委員につきまして、1月1日号、1月15日号の市報に募集の記事を掲載した。また、各出張所、公民館に募集要項を配架し、ちば電子申請サービスに申請手続をした。

1月5日から2月5日まで募集をしているが、昨日までに1名の応募があった。2名を募集しているので、どなたかお知り合いの方を是非紹介してもらえたらと思う。

令和6年度運営協議会の日程について、次回は令和6年4月26日（金）午後2時から、低層棟の委員会室を会場に予定している。議題は、市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任、登録状況、利用状況、令和5年度事業報告及び令和6年度事業実施計画などについて、を予定している。

北倉委員

補助金の見直しの提案を前回していて、それについてのアンケートを取ったと思う。その集計結果と見直し案はどこで発表される予定か。

関口支援センター長

1月10日で締め切ったが、回収率が50%未満の状況で、改めて未提出の団体に提出をお願いしているが、もう少し回収率が上がってから報告させていただこうと思っている。

議長（竹澤会長）

会議の閉会を宣言した。